

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	1225	(H.24)No.	1225
-----------	------	-----------	------

事務事業名	家庭児童相談支援事業(緊急雇用創出事業)		
担当部局名	担当室名	室長名	
子ども部	子ども家庭室	田中 康生	

会計区分	事業コード	198701
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 民生費	家庭児童相談支援事業	
項 児童福祉費	(小事業名)	
目 児童福祉総務費	家庭児童相談支援事業	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	5	自立を支える地域福祉の充実
	施策	3	子育て・子ども支援
	小施策	3	地域における子育て支援の充実
重点施策コード			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
家庭児童相談員の支援業務を行うことにより、迅速に対応できる体制を整え、児童福祉の向上を図る。
事業内容
要保護児童への対応の一瞬の遅れが児童の生死に関わることもある家庭児童相談業務は、相談件数が年々増加し、迅速な対応に支障をきたしていることから、家庭児童相談員への業務支援を行う人員を配置する。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	家庭児童相談業務に従事する家庭児童相談員の業務支援 賃金 1,571千円 共済費 218千円	家庭児童相談業務に従事する家庭児童相談員の業務支援 ・関係機関への連絡 ・ケース会議等の開催準備や関係書類の作成 ・家庭児童相談員が相談業務への迅速な対応と専念できる体制作り (26年度以降は一般財源により対応)

H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)

	H.24年度(決算見込)	H.25年度(作成時予算額)	H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
<b>直接事業費</b>	<b>1,789千円</b>	<b>2,505千円</b>			
内訳(千円)					
国・県支出金	1,789	2,505			
地方債					
その他( )					
一般財源	(0) 0	0	0	0	0
人工数					
職員	0.02人	0.02人			
臨時職員等	0.75人	0.75人			
<b>概算人件費</b>	<b>(0千円) 154千円</b>	<b>154千円</b>	<b>0千円</b>	<b>0千円</b>	<b>0千円</b>
<b>+ 総事業費</b>	<b>(0千円) 1,943千円</b>	<b>2,659千円</b>	<b>0千円</b>	<b>0千円</b>	<b>0千円</b>

## 4. 担当室による事務事業の点検 (\*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
相談件数の増加や個々への支援において、相談員の業務は年々複雑化、緊急化、長時間化していることが課題となっている。	児童虐待における相談件数は年々増加しており、DV対策を含めたことにより、その同伴児童への対応も必要となり、今後も2人体制での支援事業として継続していきたい。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	関係機関との連携を密にし、要保護児童への適切な支援を行い、地域における子育て支援の充実を図ることができた。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
--	--------

具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由
相談件数の増加や個々への支援において、相談員の業務は年々複雑化、緊急化、長時間化していることが課題となっており、今後も2人体制での支援事業として継続していきたい。

6. 事務事業の取組に係る主な市の計画